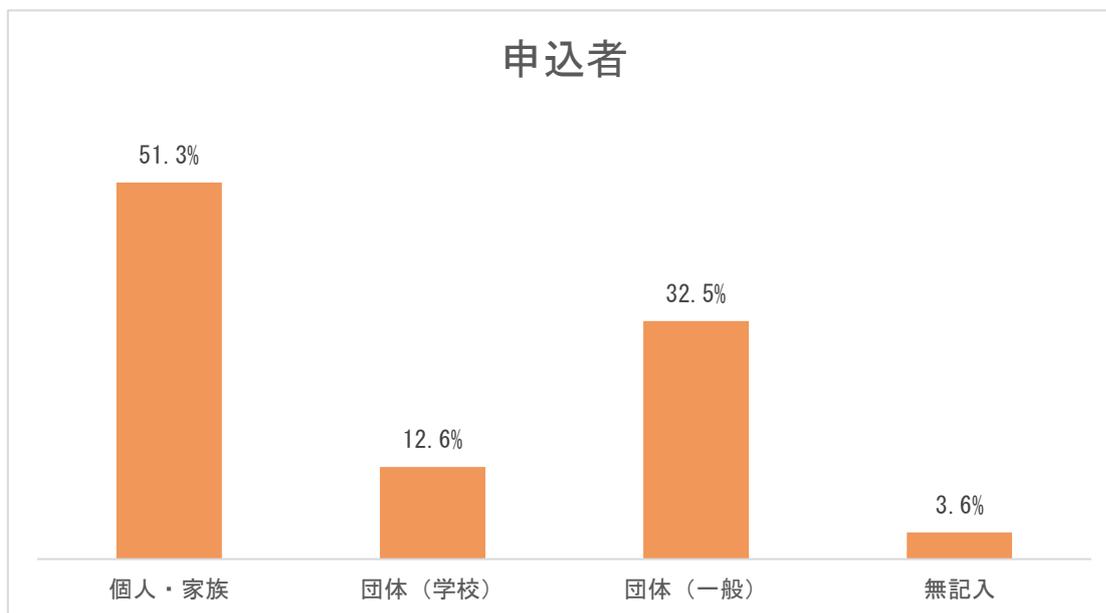


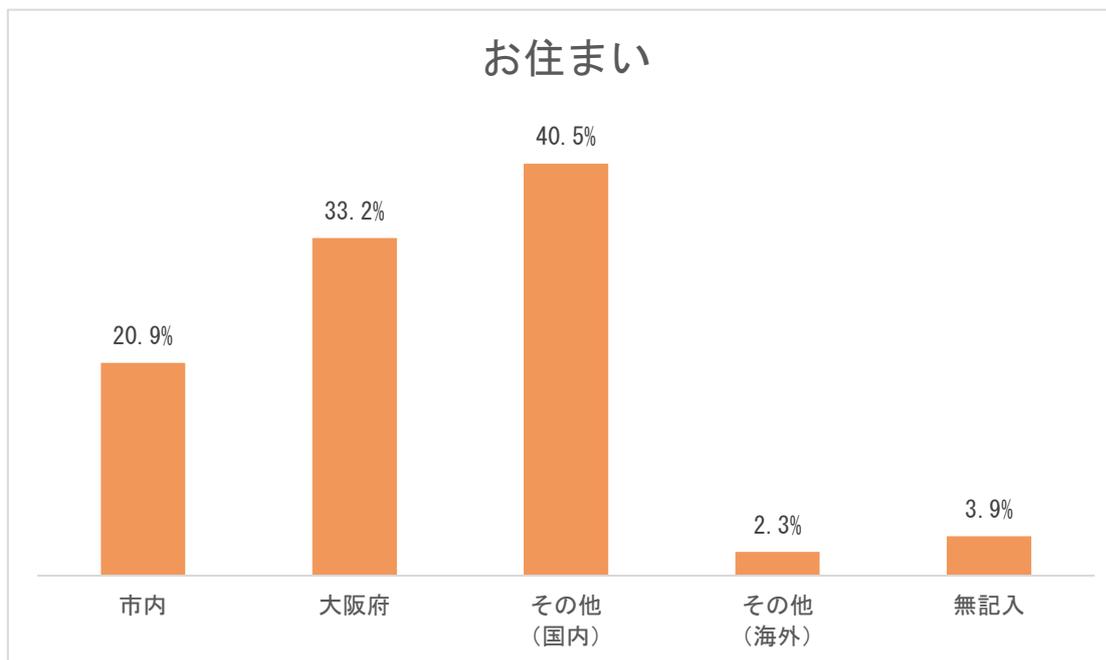
平成30年度4月～9月「舞洲工場」見学者アンケート集計

4～9月 見学者数 8,398人（オープンデー除く）

回答率4%



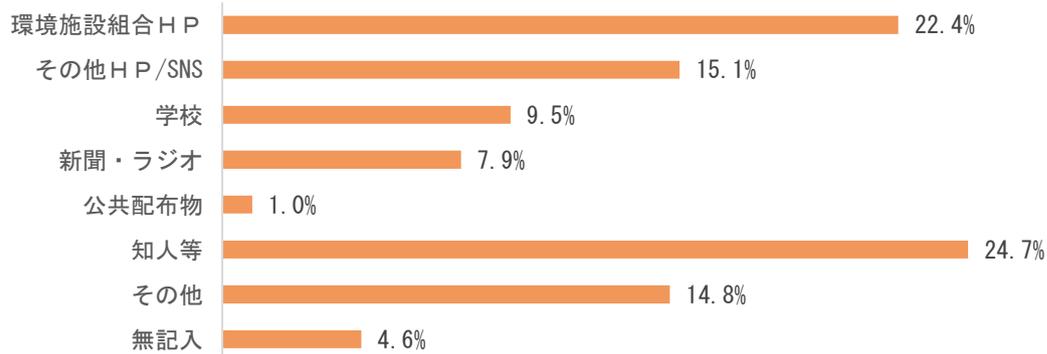
※申込は個人の方が過半数、学校が1割、その他の団体が3割程度となっています。



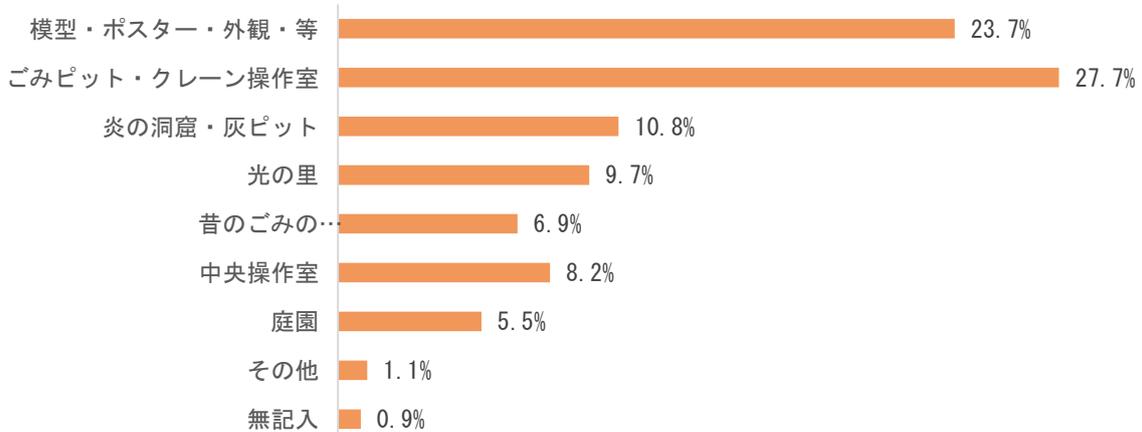
※見学者のお住まいは、市内：大阪府内：その他(国内)比がほぼ 2:3:4となっています。アンケート回答者では少ないですが、実際には約4割が海外。

オープンデーの場合は市内が過半数となっており、普段は市外からの見学者が多数を占めていますが、オープンデーは市民の方を中心に見学していただく機会となっています。

舞洲工場はどうしてお知りになりましたか

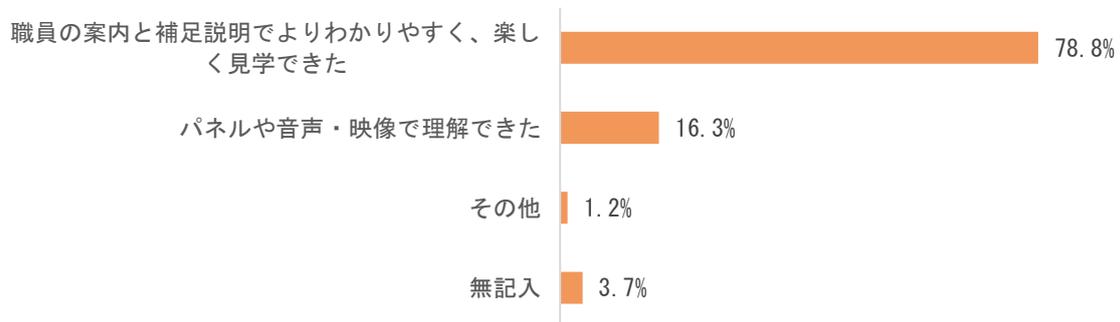


本日の見学で何に関心を持たれましたか



※ごみピット・クレーン操作室が最も多く、外観等がそれに続き、二つを合わせてほぼ半数となっています。

どのような感想を持たれましたか



※オープンデーのアンケートでは「職員の説明を聞いて理解できた」の回答が約半数、「パネルや音声・映像で理解できた」が4割前後となっており、普段の見学はより詳細に知りたい方が見学に来られていると考えられます。

自由記入欄（印象に残ったところやご意見など）

外観・デザイン

- テーマパークに来たかのような雰囲気でもとてもワクワクしました
- 技術と自然と芸術を融合した外観が一番印象に残りました

発電・環境への配慮

- 電気を売って経費にしていることが素晴らしい！
- すごくよく考えられてエネルギーを有効活用されて感激しました
- ごみ処理で燃やした分の公害の除去に大きな金がかかるのは大変ですね

工場の展示や映像、設備

- 集められた粗大ごみが車から落とされる場所やクレーンで持ち上げる場所がとても印象に残りました。見えそうなものもありそうだなと思いました（自転車やスーツケース）
- ところどころに遊んで理解したり、映像でわかりやすくするものがあった面白。最初に見た映像はもう少し新しくするとより見やすくだらう
- ごみ収集車が集まる場所を息子たちが喜んでいたので来てよかったと思いました
- すべてがオートメーション化されているとはいえカッターの摩耗の修繕等メンテナンスに大変な労力を要することが分かった。
- ごみ処理施設はなくてはならない施設です。メンテナンスも大変だと思いますが、後世に残る宝物だと思います

ごみ処理の工程がわかった、ごみの出し方について考えた

- 粗大ごみの処理や震災の時のがれきの処理が理解できた。
- 大きな工場でごみ処理よりも排出物をきれいにする区画の方が広いとのこと、普段出しているごみをきれいに処理するのはたいへんだということがわかりました
- ごみの量に圧倒されました。ごみを構わず出す習慣に反省です！
- ごみの分別をしっかりしようと思いました

職員の説明など

- 担当の方がとても安心して話せました
- 楽しく見学できました。もっといろいろな人にこの施設を知ってもらいたいので宣伝してください

その他

- 入場料をとっても良いのではと思いました
- ヴァッサーさんの絵葉書やポスターを売店で売ってほしい

★★★ アンケートへのご協力ありがとうございました ★★★